

「U シンボルシール集」活用事例紹介①

(2018年現在、U シンボルシール集はI+IIとして販売しています。)

「U シンボルシール集」(パートI)をご愛用いただいているC様からいただきました声をご紹介します。

息子は小学校6年生、通常級に通っています。

診断はアスペルガー症候群で、視覚での理解が得意なタイプです。

「会話できるから」と安心してしていると、本人の理解と違っていることもあるので、書いて見せたり、絵カードを作ってみたり、工夫してきましたが、なかなか絵の統一ができなかったり、作り方が変わったりで試行錯誤していました。

「U シンボルシール」があればボードに貼るだけなので、簡単に出来るようになりました。

息子にもわかりやすいので、とても助かっています。

普段は下記の写真のようにスケジュールに使っています。



放課後のスケジュールに使ってみました。

公園帰りのコンビニでの買い物は、息子が「プリン」シールを選択。

シールを貼るのが大好きで、選ぶのも楽しいので、にっこにこです。

～同じくC様の購入して間もない頃のブログより

素敵なグッズを手に入れました。

「U シンボルシール集です」。

なにが素敵って、貼ってはがせる 3 センチ角のシールが 336 枚も！

食べ物、乗り物、生活にどれも役立ちそうなものばかりです。

付属のシートがまたいいんですよ。

はがきより縦横 1 センチほど大きいサイズで、水性マーカーで書き込みもできます。

小さなホワイトボードのような感じ。

付属のノートはハガキファイルのようにシートをそのまま入れられます。(※「付属のノート」は、現在の「U シンボルシール集」には付属していません。)

ひとつずつスケジュールを区切ってめくっていく使い方もいいなー。

(監修の)坂井聡先生ありがとう～。

☆「U シンボルシール集」の監修者香川大学教育学部准教授 坂井聡先生からメッセージをいただきました！

放課後のスケジュールを U シンボルシールを使ってうまく伝えていると思います。「○○へ行って、△△買って、うちに帰るからね」と多くの場合音声による言語だけで伝えているのではないかと思います。しかし、その音声で伝えられた単語を聞き分けて、理解することがまだ難しい子どももいると思うのです。そのような場合には、聴覚以外の別の何かを使って理解することができるように考えなくてはならないのではないのでしょうか。日本語以外の言語圏に行って、理解するときに視覚を頼りにするのと同じことですね。このお母さんのように、視覚でわかるように伝える工夫をすることで、子どもさんは、お母さんから伝えられたことがわかるようになるのではないのでしょうか。これから歩いてお店に行ってお店を買って帰るのだということがわかるということです。理解できることによって、お母さんとの買い物がとても楽しくなったに違いありません。こんなとき、繰り返し何度も貼り直すことができる U シンボルシールはとても有効なのです。いろいろと伝える工夫をしてみてください。きっと楽しいコミュニケーションの時間が生まれるはずです。

「Uシンボルシール集」活用事例紹介②

「Uシンボルシール集」(パートI)をご愛用のレインボーママ様からの活用事例をご紹介します。

子供は支援学校小学部五年生の男の子(ノリ)。重度知的障害を伴う自閉症です。
子供が数日前から痰の絡む咳をしていました。
帰宅した子供の喉元を見ると酷く掻いたあとが…。痒み止めの塗り薬拒否。
咳もあり風邪かと思いシンボルシールにて体の症状を尋ねてみました。



母「のど痛い？」

ノリ「のど痛い」

扁桃腺のある位置を指差しながら答えてくれましたが、エコラリアの可能性もあるので、五大エンボディ(コムフレンド)さんのUシンボルシール集で確認してみました。
帰宅してすぐ大便が出ていたので、風邪の症状シールも加えて聞いてみました。

ノリは「のどがいたい」絵シールの右横のみ「○・はい」シール貼り付け

「あたまがいたい」「おなかがいたい」シールには「×・いいえ」シール貼り付け

耳鼻科から頂いた抗生剤を飲ませて様子を見ることにしました。

咳の症状以外はとっても元気なノリです。

熱はその後も出ず、お薬服用後の三日目には咳もなく元気になりました。

◎評価

今まで使ってきたイラスト、シンボルの中でもUシンボルシールのイラストは子供に分かりやすいようです。また、シールタイプの良い所は簡単に使える所。親がすぐ子供に用意してあげられる所です。ただ、よく使うシンボルは決まっているので、何度も使っているうちにシールがへたってしまいます。

◎要望

子供に伝える際に適当なシンボルが見つからない時は自分で油性ペンを使って白シールに書きましたが、専用のマジックがあっても良いかなと個人的に思っています。製作費に費用がかかって、お値段が高くなると購入するひとが少なくなってしまうと思いますので、製作を強いている訳ではありません。シールの耐久性の向上が希望です。が、パートIIはシールの性能が向上していると書いてあるので手にするのが楽しみです。

坂井先生、コムフレンドの皆様、障害を持つ子供が暮らしやすくなるグッズを提供して下さり有難うございます。

株式会社コムフレンド 〒612-8427 京都市伏見区竹田真幡木町 53 栗塚ビル 301

TEL : 075-632-8655 FAX : 075-320-3864

E-Mail : contact@com-friend.co.jp URL <http://www.com-friend.co.jp>